# 名古屋刑務所の概況





敷地面積:352,357㎡(バンテリンドームナゴヤ(旧ナゴヤドーム)約7個分)

·居室数:1,467室(単独室:1,270室、共同室:197室)

•保護室:16室 静穏室10室

## 施設の沿革

明治6年 広小路徒場を懲役場と改称。さらに、名古屋市竪三ツ蔵町の旧尾張藩敷地内(現・中区栄一丁目)に三ツ蔵懲役場を開設

明治14年 4月 内務省の所管となり、名古屋監獄署と改称。

明治31年 6月 愛知郡千種村馬走(現名古屋市千種区吹上)に施設を新築・移転

大正11年10月 名古屋刑務所と改称

昭和16年 6月 三好農場開設 (現施設所在地)

昭和36年 3月 名古屋市都市計画事業促進のため三好町(現 みよし市)への移転協定成立

昭和37年 3月 三好農場跡地510,000㎡(15万5千坪)にて新施設起工式

昭和40年 1月 現在地に移転実施(経年56年9月)

平成 5年 3月 庁舎・宿舎等新築工事完成

平成 8年12月 炊場棟完成

平成15年 9月 単独室 1 棟 (200室)、職業訓練 1 棟完成

12月 新講堂完成

平成18年 3月 職業訓練棟、宿舎各 1 棟完成

9月 単独室1棟(300室)、領置倉庫棟、運動場、特別単独室棟等完成

平成22年12月 特別単独室棟(保護室1、静穏室2)1棟完成

平成26年 2月 仮設第5工場完成





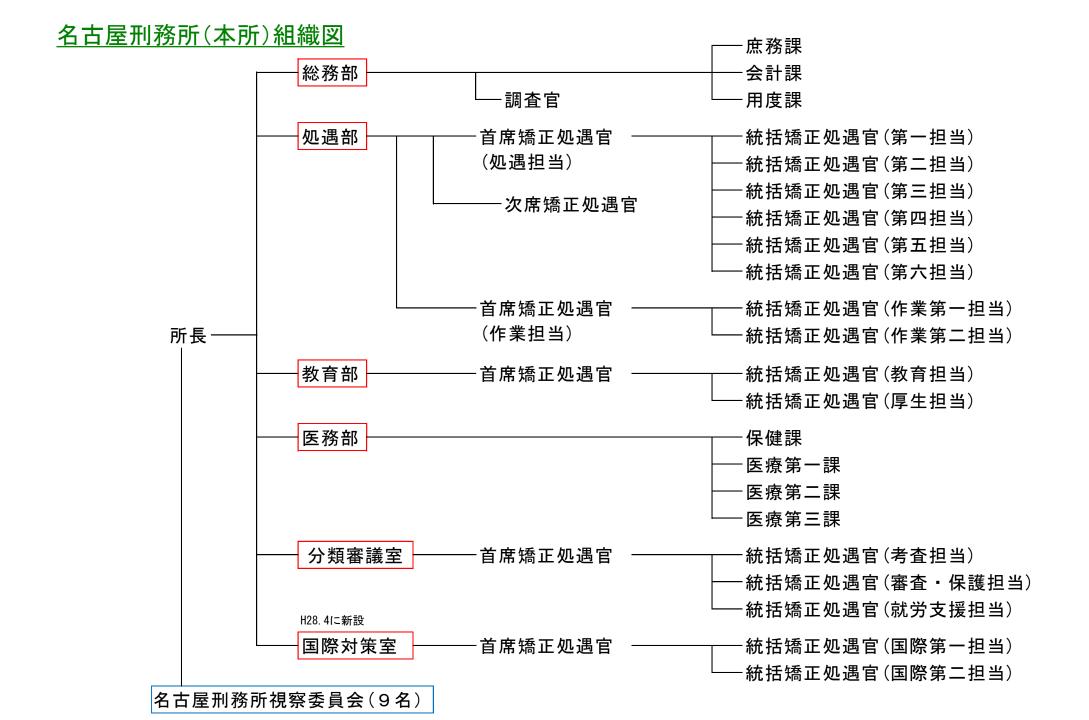




庁舎(明治31年当時)



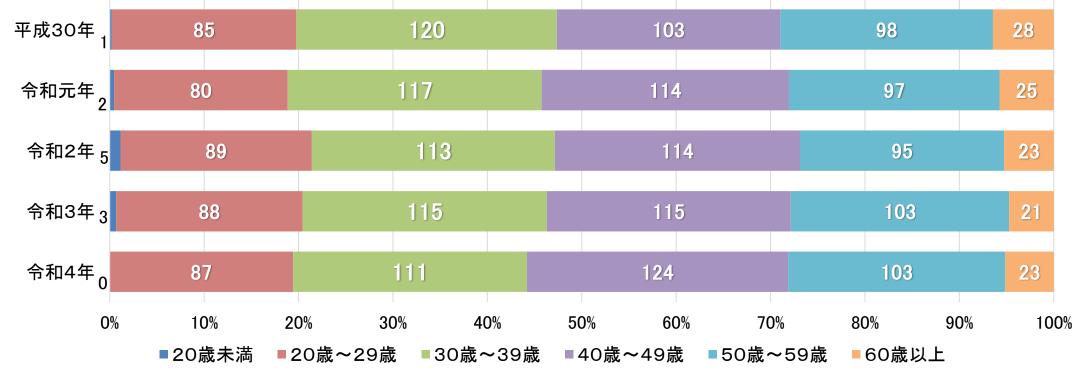




	区分	行政職(一)	行政職(二)	公安職	医療職	合 計
名古屋刑務所	定員	2	0	412	40	454
(本所)	現員	2	0	407	39	448

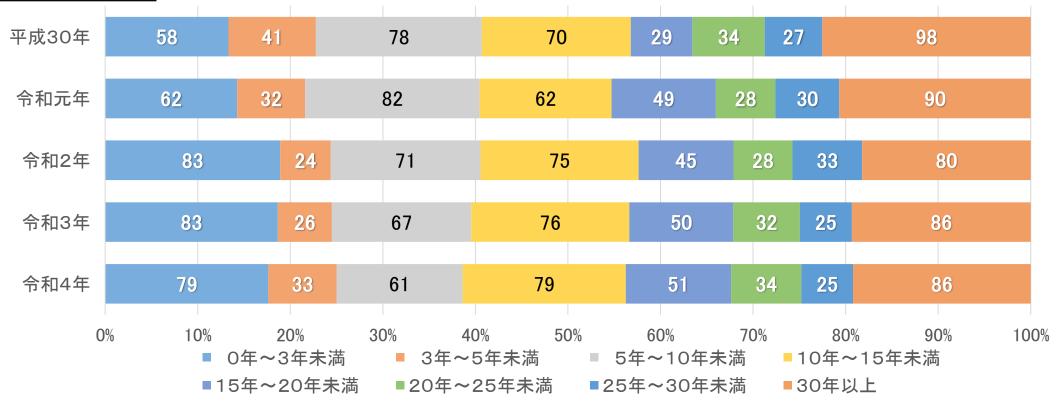
# <u>名年齡構成推移</u>

#### 各年12月1日現在



勤務経験年数構成

各年12月1日現在



刑務官採用状況

(人)

(暦年)	採用者数	うち退職者数
平成30年	17	3
平成31/令和元年	27	15
令和2年	32	3
令和3年	18	1
令和4年	11	0
合計	105	22

# 支所を含めた職員数及び収容人員

#### 名古屋刑務所(本所)

職員定員 454名 収容定員 2,427名 収容現員 1,234名 収容率 50.8%



職員定員 588名 収容定員2,872名 収容現員1,473名 (令和4年12月1日開室人員)

#### 豊橋刑務支所

職員定員 104名 収容定員 338名 収容現員 211名 収容率 62.4%



#### 岡崎拘置支所

職員定員 30名 収容定員 107名 収容現員 28名 収容率 26.2%



# <u>収容現況</u>

# 入出所の状況

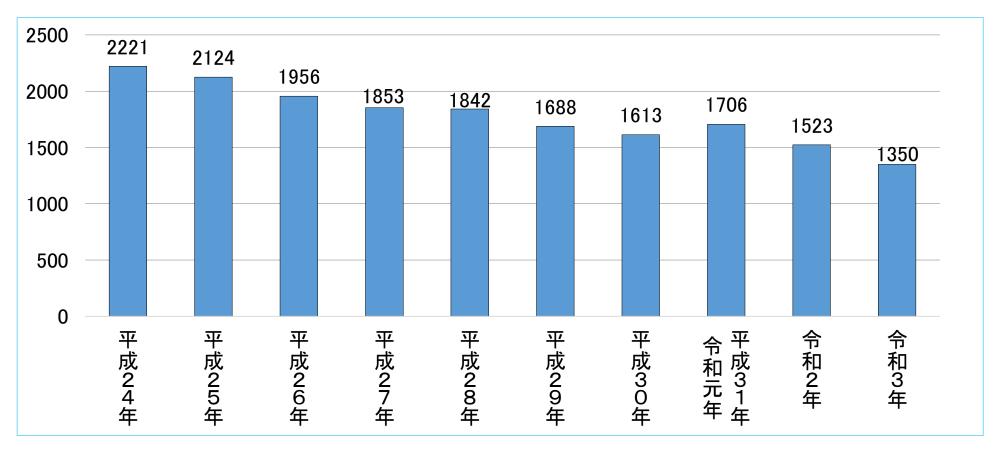
(人)

年次	入所人員	対前年 増ム減数	出所人員	対前年 増ム減数	1日平均 収容人員	対前年 増ム減数	年間最大 収容人員	対前年 増△減数
平成30年	1,119	76	1,014	△174	1,613	△75	1,736	△31
令和元年	1,036	△ 83	1,104	90	1,706	93	1,770	34
令和2年	876	△ 160	1,109	5	1,523	△ 183	1,675	△ 95
令和3年	895	19	988	△121	1,350	△ 173	1,426	△ 249
令和4年 (12月1日現在)	791	△ 104	892	△ 96	1,270	△ 80	1,331	△ 95

# 収容現況

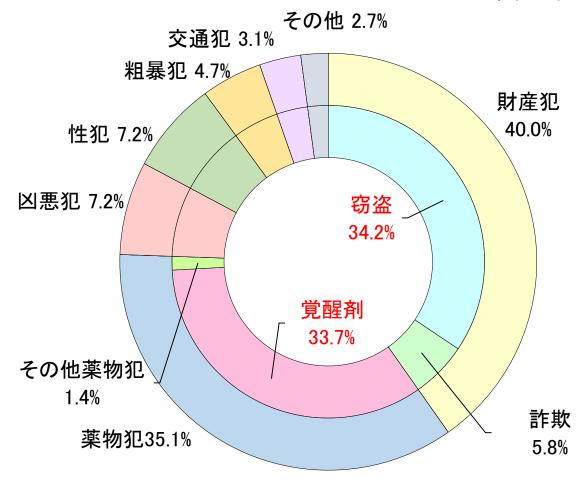
# 一日平均収容人員

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
収容率(%)	91.2	83.9	77.4	77.4	72.8	66.8	71.2	68.4	58.8	54.9
一日平均収容人員(人)	2,221	2,124	1,956	1,853	1,842	1,688	1,613	1,706	1,523	1,350



罪名別人員 労役、未決被収容者を除く 1,215名

令和4年12月1日現在



窃盗、覚醒剤の順に多く、詐欺、その他薬物犯を加えると、全体の75.1パーセントを占める。

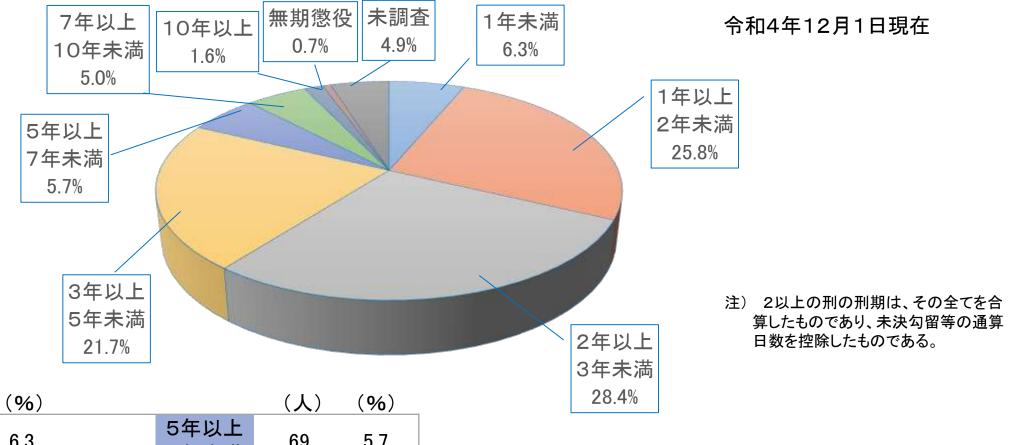
	(人)
財産犯	487
窃盗	416
詐欺	71
薬物犯	426
覚醒剤	409
その他	17
凶悪犯	87
強盗	57
殺人	24
放火	6
性犯	87
強制性交	32
強制わいせつ等	55
粗暴犯	57
傷害	36
恐喝	10
暴行等	11
交通犯	38
道交法	25
業務過死傷等	13
その他	33
その他	33

その他は、建造物侵入、器物損壊等

# 収容現況

# 刑期別人員

(1)



	(人)	(%)			(%)
1年未満	76	6.3	5年以上 7年未満	69	5.7
1年以上 2年未満	314	25.8	7年以上 10年未満	61	5.0
2年以上3年未満	345	28.4	10年以上	19	1.6
3年以上5年未満	264	21.7	無期懲役	8	0.7
			未調査	59	4.9

平均刑期 約3年1月(日本人:約2年11月 外国人:約4年9月)

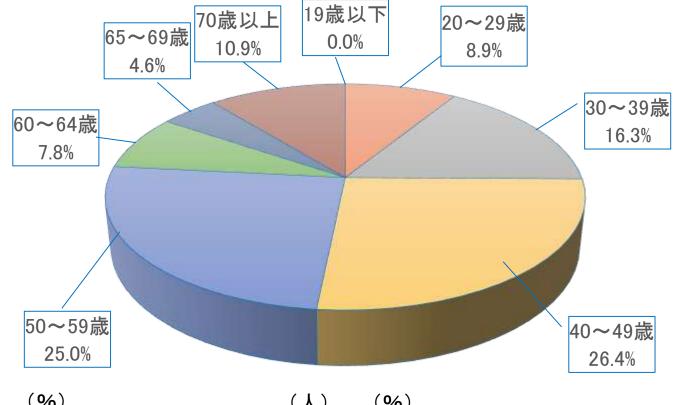
入所度数 平均4.4回(最多:25回)

※構成比は四捨五入により和が100にならない場合がある。

# 収容現況

# 年齡別人員

令和4年12月1日現在



	(人)	(%)		(人)	(%)	
19歳以下	0	0.0	50~59歳	304	25.0	
20~29歳	108	8.9	60~64歳	95	7.8	
30~39歳	198	16.3	65~69歳	56	4.6	
40~49歳	321	26.4	70歳以上	133	10.9	

65歳以上人員割合	(人)	(%)
平成30年	234	13.6
平成31/令和元年	230	13.9
令和2年	211	14.9
令和3年	209	15.8
令和4年	189	15.5

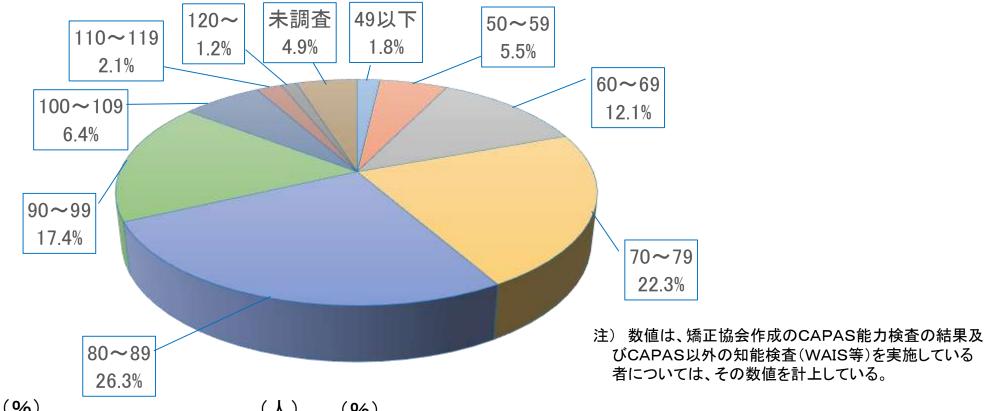
全受刑者 平均年齢49.5歳 最高齢91歳

※構成比は四捨五入により和が100にならない場合がある。

# CAPAS能力検査値等段階別人員

*(* **1** )

#### 令和4年12月1日現在



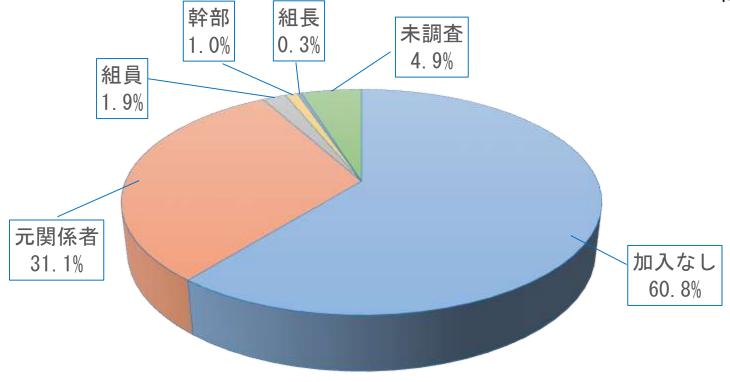
	(人)	(%)		(人)	(%)
49以下	22	1.8	90~99	211	17.4
50 <b>~</b> 59	66	5.5	100~109	77	6.4
60~69	147	12.1	110~119	25	2.1
70 <b>~</b> 79	270	22.3	120~	15	1.2
80~89	319	26.3	未調査	59	4.9

総員1,215人から、検査不能人員4名を除いた1,211人 の実施結果

# 収容現況

# 暴力団関係人員

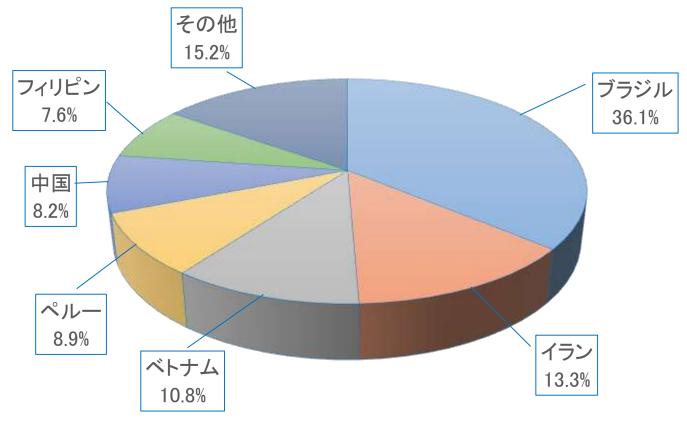
# 令和4年12月1日現在



	(人)	(%)		(人)	(%)
加入なし	739	60.8	幹部	12	1.0
元関係者	378	31.1	組長	4	0.3
組員	23	1.9	未調査	59	4.9

# F指標受刑者人員

令和4年12月1日現在



17か国 158人

	(人)	(%)		(人)	(%)
ブラジル	57	36.1	中国	13	8.2
イラン	21	13.3	フィリピン	12	7.6
ベトナム	17	10.8	その他	24	15.2
ペルー	14	8.9			

その他は、トルコ、ボリビア、ナイジェリア、カンボジアなど ※構成比は四捨五入により和が100にならない場合がある。

# 保安の現況

# 懲罰執行状況

令和4年12月1日現在

(人)

		_		()()
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
被収容者殺傷	3	7	3	2
被収容者暴行	117	111	75	70
職員等殺傷	0	1	1	1
職員等暴行	12	8	12	15
抗命	13	18	55	61
逃走	0	0	0	0
争論	42	60	36	33
不正製作等	89	89	76	71
怠 役 等	1,868	1,942	1,024	628
自傷	6	10	12	10
その他	596	571	426	382
総数	2,746	2,817	1,720	1,273

不正製作等には、不正所持、不正授受等を含む。

その他は、通声、ひぼう・中傷、職員の指示に対する違反等を含む。

※通声(つうせい)

別の居室にいる者と音声で、壁越し、窓越しなどにより連絡をとる不正行為。

# 令和4年12月1日現在

# 手錠、捕縄及び拘束衣使用件数

# 第一種手錠

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
件数	17	25	15	5
(内訳)				
逃走のおそれ	0	0	0	0
自身を傷つけるおそれ	3	10	5	3
他人に危害を加えるおそれ	12	14	8	2
設備等損壊のおそれ	2	1	2	0

# 第二種手錠

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
件数	5	12	5	1
(内訳)				
自身を傷つけるおそれ	3	10	5	1
他人に危害を加えるおそれ	0	0	0	0
保護室を損壊し、又は損壊しようとするとき	2	2	0	0
逃走のおそれ	0	0	0	0
自身を傷つけるおそれ(保護室以外)	0	0	0	0
他人に危害を加えるおそれ(同上)	0	0	0	0
設備等損壊のおそれ(同上)	0	0	0	0

# 拘束衣

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
件数	0	0	0	0

# 処遇の状況

# 職業訓練関係

訓練種目	訓練期間	実施回数/年	取得可能な資格
建設・土木コース科	1年	1回	車両系建設機械(整地等、解体用、締固め) 玉掛け、小型移動式クレーン、高所作業車 有機溶剤主任者、足場組立、フルハーネス
ビル設備管理科	4月	1回	二級ボイラー技士免許 危険物取扱者免状(乙種第4類)
ビジネススキル科	1月	4回	













# <u>教育関係</u>

# 一般改善指導

種類	対象	指導者	指導内容·方法
スタートアッププログラム	新たに入所した 全受刑者	教育部職員	ワークブックを活用して、客観的に自分自身 を振り返り、犯罪のない生活に向けた準備を 行う。
断酒指導 (アルコール依存回復プログラム)	飲酒に関係する 問題を有する者	教育部職員 自助グループ等	ワークブック、グループワークにより、アル コール依存からの離脱意欲を喚起させ、断酒 の具体的方法を考えさせる。
窃盗等絶縁指導	窃盗等財産犯	教育部職員	グループワーク、ワークブックにより、窃盗 等の財産事犯や人間関係について振り返ら せ、再犯しない人生について考えさせる。
担当訓話	工場就業受刑者	工場担当職員	テーマを設定し、1回約5分間の訓話を実施
社会復帰支援指導	高齢又は障害の ある者	教育、分類、医務職 員、定着支援セン ター職員	円滑な社会復帰が困難と認められる者に対し、基本的生活能力の獲得、社会福祉制度に関する知識の習得、福祉サービスの活用方法に関する講義やグループワーク、ロールプレイングを実施

# 特別改善指導

# (令和3年度実施実績)

符号	種類	細分	実施内容•方法	実施人員
		必修	薬物に対する依存があると認められる者全員に対し、DVD視聴及び ワークブックを実施	110
R1	薬物依存離脱指導	選択	グループワーク及び民間自助グループによるミーティング	36
		専門	専門的・体系的な指導の必要性が高いと認められる者に対し、ワークブックを用い、グループワークを実施	48
R2	暴力団離脱指導		暴力団離脱に向け、講義、グループワーク及びワークシート作成	7
		高密度	再犯リスク、問題性の程度に応じたプログラムを実施 グループワーク及び個別課題	13
R3	性犯罪再犯防止指導	集中プロ グラム	刑期が短く密度別プログラムの受講期間を確保できない者を対象に したプログラム グループワーク及び個別課題	4
R4	被害者の視点を取り入れた教育		命の尊さの認識、謝罪のあり方等について講義、ゲストスピーカーに よる講話、グループワーク等	10
R5	交通安全指導		罪の重さの認識、運転者の責任と義務、被害者への対応等について 講義、グループワーク等	46
R6	就労支援指導		社会生活に必要な基本的なスキルとマナー、コミュニケーションの方 法等について、講義、グループワーク等	45

# <u>教育関係</u>

# <u>教科指導</u>

	対象者	指導者	内容
補習教科指導	義務教育程度の学力を有しない者	篤志面接委員	国語、算数、社会等

# 通信教育

公費	簿記3級、漢字検定2級、ボールペン字入門、聞く力を磨く
私費	簿記2級、衛生管理者、危険物取扱者等

# 高等学校卒業程度認定試験実績

(人)

	受験者数	合格者数
令和元年	1	1
令和2年	2	2
令和3年	1	1

## 医務関係

#### 「医療重点施設」としての名古屋刑務所

1 スタッフ(令和4年12月1日現在)

常勤医師9名(内科4名 外科2名 整形外科1名 精神科1名 歯科1名)

非常勤医師4名(内科2名 精神科1名 眼科1名)

看護師24名、薬剤師2名、放射線技師等3名

非常勤5名(薬剤師1名、理学療法士2名、介護専門スタッフ2名)

2 収容対象

管内各施設で、身体上の疾患又は障害若しくは薬物による精神障害があり、相当の期間、医療や養護の必要がある者

3 主な設備

手術室、人工透析室、歯科治療室、X線・CT検査室、心電図・超音波・内視鏡室、電子カルテ等



人工透析室(17台)



CT検査室



歯科治療室

# <u>医務関係</u>

# 被収容者関連

# 令和4年12月1日現在

## 入院(病院移送)件数

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
総数(件数)	28	16	24	15
延べ日数	135	116	124	58

## 通院(外医治療)件数

(件)

令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
284	131	203	142

## 新型コロナウイルス感染症り患者数

(人)

令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
0	1	6	84

# 医務関係

## 職員 新型コロナウイルス感染症り患者数

令和4年12月1日現在

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	合計
本所	0	4	17	117	138
豊橋支所	0	0	0	19	19
岡崎支所	0	0	1	7	8

# 新型コロナウイルス対応(ワクチン接種状況)

職員(支所を含む)

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
延べ人員 (人)	534	527	343	102	14
割合(%)	91.4%	90.2%	58.7%	17.5%	2.4%

被収容者

	1回目	2回目	3回目
延べ人員 (人)	1,181	1,094	442

みよし市と協議し、講堂において当所医師による大規模接種を実施した。 本人の希望を聴取し、複数回実施したことにより、初回接種については希望者の うち約87パーセント、3回目接種については、希望者のうち約92パーセントが接 種済みとなっている。



# 分類関係

# 過去5年間の仮釈放率

(%)

区分	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
仮釈放率	38.9	38.2	38.4	43.9	46.7
全国の仮釈放率	58.0	58.5	58.3	59.2	60.9
執行率	88.7	90.1	90.2	89.4	89.5

全国の仮釈放率は、犯罪白書から引用(初犯施設を含む)

# 帰住先の希望

令和4年12月1日現在

	保護施設	両親	知人等	妻・内妻	親族	その他
人員(人)	322	201	199	107	105	281
割合(%)	26.5	16.5	16.4	8.8	8.6	23.1

※構成比は四捨五入により和が100にならない場合がある。

# 分類関係

# 再犯防止に向けた取組(就労支援)

(人)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
就労支援対象者 (準支援を含む)	125	153	154	144
就労支援による採用内定者	12	31	22	20
内定先の主な業種	建設∙運送	建設∙製造	建設・製造	建設∙製造

- •就労支援指導
- ▪職業訓練
- •就労支援担当者面接
- ▪職業相談

# 再犯防止に向けた取組(福祉支援)

(人)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
特別調整対象者	26	27	24	20
特別調整対象者以外で刑事施設 が福祉支援を実施した対象者 (主な調整先は、病院,公的・民間 福祉施設、民間住宅等)	26	27	37	36

高齢又は身体・知的・精神障害を有する身寄りのない在所者に対する、帰住先の確保、治療の継続、地域での福祉支援への引継ぎを行う。

### その他各種の取組

#### 関係機関等と連携した再犯防止への取組

- ・ハローワーク訪問 在所中に外出し、ハローワーク豊田の専用窓口で就労相談を体験
- •職場体験 就労を希望する職種の企業において、就労の実体験を実施
- ・暴力団離脱支援 「名古屋刑務所と愛知県警察本部刑事部組織犯罪対策局との間の暴力団離脱支援等に関する申し合わせ」を締結

# 矯正施設所在自治体と連携した取組

- ・一時指定避難場所みよし市と協定を締結し、災害時における周辺住民の避難場所を提供
- ・社会貢献活動 みよし市と協定を締結し、在所者による地域の清掃活動を実施









# 名古屋刑務所において速やかに実施した対策(R4年末まで)

- ◎不適正処遇防止PT(仮称)を立ち上げ 事案を検証・分析し、意識改善・改革に主眼を置き、研修等を企画及び実施
- ◎職員研修等の実施
  - ☆ アンガーマネジメント研修(外部講師) 対象:昼夜勤務職員
  - ☆ 所長講話

対象:昼夜勤務職員

- ☆ 注意の仕方・言葉遣い等対象:処遇部門全職員
- ☆ メンター制の拡充 対象:若年職員
- ☆ 人権研修(外部有識者等) 対象:全職員

#### ◎信頼回復に向けた取組

- ☆ スローガン・決意標語等の提示
- ☆ 地域活動参加の推進(清掃、登校立哨等の各種地域行事)
- ☆ 広報活動の推進
- ☆ 関係機関への説明・謝罪等
- ☆ 刑事施設視察委員会との関係強化